

## 格闘武術・柔術柔道書集成シリーズ 第Ⅲ回 昭和(戦前期)の格闘武術・柔道書 全8巻



民和文庫研究会:編

企画・編集責任者:中村民雄(福島大学名誉教授)石井隆憲(日本体育大学教授)

全巻揃定価 168,300 円(153,000 円+10%税)

ISBN 978-4-86670-082-3(セット)C3337

A5 判／全 4,830 頁／上製函入／クロス装／2020年3月25日刊行

昭和(戦前期)に入りスポーツ界は、国際水準に達し急速に成果を上げるとともに、アジア初のオリンピック開催が決定した。また、武道の中にも空手や合気道といった新しい種目が芽を吹きだした。

しかし、昭和13年(1938)5月、嘉納という巨星が落ち、オリンピック返上とともに国際協調を旨としたスポーツや柔道が否定されました。特に、同年1月に新設された厚生省が、国防力としての体力の国家管理を目指してスポーツ界を総動員化し始めたことにより、国防力としての「肉弾体武」を謳った稻葉太郎が分派活動を起こし、分裂の危機を迎えた。

このシリーズ第Ⅲ回配本は、昭和(戦前期)に刊行された空手・合気道・捕手術・柔道の貴重な資料を収録。

第一巻	唐手・空手道	定価 25,300 円 (23,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-074-8
第二巻	合気武道・合気道	定価 22,000 円 (20,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-075-5
第三巻	捕手術	定価 19,800 円 (18,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-076-2
第四巻	柔道 (1)	定価 17,600 円 (16,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-077-9
第五巻	柔道 (2)	定価 20,900 円 (19,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-078-6
第六巻	柔道 (3)	定価 23,100 円 (21,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-079-3
第七巻	柔道 (4)	定価 23,100 円 (21,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-080-9
第八巻	柔道の分派	定価 16,500 円 (15,000 円+10%税)	ISBN 978-4-86670-081-6

(前半セット 第一巻～第四巻／後半セット 第五巻～第八巻 ※解説は後半のセットに同梱いたします。)